

わたしのまちの

豊能町 TOYONO CHO

# 風物詩

なにわの伝統野菜を食す

“<sup>たが やま ま な</sup>高山真菜まつり”へお越しください。

真菜まつりが開催される高山地区は、豊能町の南部に位置し、キリシタン大名として有名な高山右近ゆかりの地です。高山マリアの墓、高札場の地蔵石仏など、キリシタン関係のものといわれている遺物がのこされています。

また、高山地区は標高約450メートル前後の標高で、かなり冷涼な気候にあり、冬季は連日氷点下となります。しかし、夏季は涼しく非常に快適な環境です。里から北東を見ると山を背に一気に500メートルまで棚田がひろがり、その絶景とともに精密に石を積み上げた先人のとてつもないエネルギーが感じられます。

集落戸数約70戸と小さな集落ですが、なにわの伝統野菜である「高山牛蒡」と「高山真菜」の産地としても知られています。この高山真菜は、アブラナ科の一種で、およそ300年前からこの地で生産され、毎日のように霜が降りる冬季には益々味わいが増してきます。

「真菜まつり」も今年で18回目を迎え、毎年多くのお客様をお迎えする地元あげての一大イベントとして定着してきました。農家が丹精込めて育てた真菜の摘み取りと地元のお母さんたち手作りの山菜



なにわの伝統野菜「高山真菜」



高山特産「真菜漬け」



※昨年の「真菜まつり」の様子

おこわや豚汁のおもてなしがあり、体も心もあたたまります。今年は、3月27日（日）に開催され、一人でも多くの方々にお越しいただきたく高山地区をあげて準備をしています。

ぜひとも、一度お越しください。心よりお待ちしております。

真菜まつりが終われば高山にも遅い春がやってきます。冬の間、凍てついた棚田にも水がはられ、田植えが始まります。何代にも渡って続けてきた生きるためのたくましい営みが繰り返されていきます。

## ● お問い合わせ先 ●

豊能町建設環境部農林商工課

TEL：072-739-3424